

2025 事業年度

決 算 報 告 書

自 2025年4月1日

至 2026年3月31日

目 次

貸 借 対 照 表  
正味財産増減計算書  
計算書類の附属明細書  
財 産 目 録  
監 事 監 査 報 告 書  
独立監査人の監査報告書

# 貸 借 対 照 表

2026年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	104,345,573	123,434,941	△ 19,089,368
未収金	464,762,123	467,248,939	△ 2,486,816
前払金	36,837,865	31,582,526	5,255,339
流動資産合計	605,945,561	622,266,406	△ 16,320,845
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本金預金	300,000,000	300,000,000	0
基本財産合計	300,000,000	300,000,000	0
(2) 特定資産			
建物及び附属設備	0	2	△ 2
構築物	31,986,949	53,335,469	△ 21,348,520
什器備品	38,537	2,465,424	△ 2,426,887
退職給付引当資産	289,987,100	287,598,300	2,388,800
特定資産合計	322,012,586	343,399,195	△ 21,386,609
(3) その他固定資産			
建物及び附属設備	9,943,917	11,904,299	△ 1,960,382
構築物	144,704,728	191,793,006	△ 47,088,278
什器備品	12,792,998	15,691,600	△ 2,898,602
リース資産	9,335,443	11,940,682	△ 2,605,239
ソフトウェア	0	28,052	△ 28,052
電話加入権	1,807,836	1,807,836	0
敷金	36,504,070	36,504,070	0
保証金	1,053,280	1,053,280	0
その他固定資産合計	216,142,272	270,722,825	△ 54,580,553
固定資産合計	838,154,858	914,122,020	△ 75,967,162
資産合計	1,444,100,419	1,536,388,426	△ 92,288,007

科 目	当年度	前年度	増 減
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	100,005,978	68,174,537	31,831,441
預り金	4,756,923	4,561,850	195,073
短期借入金	120,000,000	200,000,000	△ 80,000,000
短期リース債務	2,561,093	2,490,481	70,612
賞与引当金	20,148,107	19,690,348	457,759
流動負債合計	247,472,101	294,917,216	△ 47,445,115
2. 固定負債			
退職給付引当金	277,225,100	277,014,300	210,800
役員退職慰労引当金	12,762,000	10,584,000	2,178,000
長期リース債務	6,957,302	9,518,395	△ 2,561,093
固定負債合計	296,944,402	297,116,695	△ 172,293
負債合計	544,416,503	592,033,911	△ 47,617,408
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
政府機関補助金	31,986,967	55,720,356	△ 23,733,389
科学研究費補助金受贈資産	38,519	80,539	△ 42,020
地方公共団体出捐金	89,000,000	89,000,000	0
寄付金	198,551,000	198,551,000	0
指定正味財産合計	319,576,486	343,351,895	△ 23,775,409
(うち基本財産への充当額)	( 287,551,000)	( 287,551,000)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	( 32,025,486)	( 55,800,895)	( △23,775,409)
2. 一般正味財産	580,107,430	601,002,620	△ 20,895,190
(うち基本財産への充当額)	( 12,449,000)	( 12,449,000)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
正味財産合計	899,683,916	944,354,515	△ 44,670,599
負債及び正味財産合計	1,444,100,419	1,536,388,426	△ 92,288,007

# 正味財産増減計算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	( 473, 133)	( 862)	( 472, 271)
基本財産受取利息	473, 133	862	472, 271
② 特定資産運用益	( 725, 188)	( 1, 311)	( 723, 877)
特定資産受取利息	725, 188	1, 311	723, 877
③ 事業収益	( 1, 263, 687, 594)	( 1, 248, 824, 080)	( 14, 863, 514)
研究業務支援事業収益	594, 987, 126	568, 360, 886	26, 626, 240
政府機関受託研究収益	257, 365, 468	265, 061, 536	△ 7, 696, 068
民間企業等受託研究収益	411, 335, 000	415, 401, 658	△ 4, 066, 658
④ 受取補助金等	( 11, 621, 764)	( 14, 013, 388)	( △ 2, 391, 624)
受取政府機関補助金振替額	11, 621, 764	14, 013, 388	△ 2, 391, 624
⑤ 受取寄付金	( 42, 020)	( 55, 051)	( △ 13, 031)
受取寄付金	0	0	0
固定資産受贈益振替額	42, 020	55, 051	△ 13, 031
⑥ 雑収益	( 5, 664, 120)	( 771, 065)	( 4, 893, 055)
受取利息	292, 945	76, 555	216, 390
雑収益	5, 371, 175	694, 510	4, 676, 665
経常収益計	1, 282, 213, 819	1, 263, 665, 757	18, 548, 062
(2) 経常費用			
① 事業費	( 1, 259, 016, 828)	( 1, 266, 128, 871)	( △7, 112, 043)
役員報酬	16, 272, 058	15, 750, 000	522, 058
給料手当	392, 255, 218	379, 945, 273	12, 309, 945
賞与引当金繰入額	18, 984, 573	18, 238, 171	746, 402
臨時雇賃金	87, 462, 642	81, 537, 030	5, 925, 612
退職給付費用	24, 726, 640	23, 234, 900	1, 491, 740
法定福利費	78, 202, 868	77, 147, 260	1, 055, 608
福利厚生費	2, 941, 803	3, 599, 209	△ 657, 406
人材派遣費	102, 263, 109	106, 921, 819	△ 4, 658, 710
会議費	6, 712, 196	7, 523, 375	△ 811, 179
旅費交通費	30, 757, 217	30, 891, 111	△ 133, 894
通信運搬費	23, 805, 165	22, 684, 010	1, 121, 155
減価償却費	69, 472, 425	72, 692, 487	△ 3, 220, 062
図書購入費	557, 761	420, 959	136, 802
消耗品費	6, 015, 663	6, 387, 095	△ 371, 432
修繕費	1, 406, 736	4, 557, 505	△ 3, 150, 769

科 目	当年度	前年度	増 減
印刷製本費	1,636,921	4,193,966	△ 2,557,045
光熱水料費	6,297,416	6,294,112	3,304
調査研究費	119,520,858	134,770,290	△ 15,249,432
保守点検費	32,189,544	34,379,283	△ 2,189,739
データベース諸費	22,193,553	19,105,714	3,087,839
賃借料	99,125,016	100,967,148	△ 1,842,132
清掃費	2,586,962	2,570,978	15,984
諸謝金	29,051,826	31,173,459	△ 2,121,633
支払助成金	1,020,000	1,000,000	20,000
情報啓蒙費	5,945,957	6,666,319	△ 720,362
保険料	1,052,310	1,117,087	△ 64,777
諸会費	3,269,945	3,152,792	117,153
租税公課	70,747,381	65,326,001	5,421,380
支払利息	1,100,687	1,078,448	22,239
雑費	1,442,378	2,803,070	△ 1,360,692
② 管理費	( 44,092,161)	( 46,281,760)	( △2,189,599)
役員報酬	7,076,020	6,444,000	632,020
給料手当	16,892,319	18,481,303	△ 1,588,984
賞与引当金繰入額	1,163,534	1,452,177	△ 288,643
退職給付費用	2,769,260	2,770,300	△ 1,040
法定福利費	3,568,120	3,505,593	62,527
旅費交通費	1,060,348	1,172,713	△ 112,365
通信運搬費	88,529	33,267	55,262
減価償却費	131,000	93,643	37,357
印刷製本費	189,035	216,744	△ 27,709
光熱水料費	177,143	197,119	△ 19,976
保守点検費	126,280	309,980	△ 183,700
賃借料	2,729,380	2,939,332	△ 209,952
清掃費	207,808	223,792	△ 15,984
諸謝金	4,445,386	4,816,933	△ 371,547
保険料	151,530	159,293	△ 7,763
諸会費	103,400	97,240	6,160
租税公課	3,167,899	3,321,499	△ 153,600
支払利息	33,180	38,802	△ 5,622
雑費	11,990	8,030	3,960
経常費用計	1,303,108,989	1,312,410,631	△ 9,301,642
当期経常増減額	△ 20,895,170	△ 48,744,874	27,849,704

科 目	当年度	前年度	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	12,111,625	2	12,111,623
① 受取補助金等	( 12,111,625)	( 1)	( 12,111,624)
受取政府機関補助金振替額	12,111,625	1	12,111,624
② 受取寄付金	( 0)	( 1)	( △ 1)
固定資産受贈益振替額	0	1	△ 1
(2) 経常外費用	12,111,645	159,341	11,952,304
① 特定資産除却損	( 12,111,625)	( 2)	( 12,111,623)
建物及び付属設備除却損	2	0	2
構築物除却損	12,107,336	0	12,107,336
什器備品除却損	4,287	2	4,285
② 固定資産除却損	( 20)	( 159,339)	( △159,319)
什器備品除却損	20	22	△ 2
ソフトウェア除却損	0	159,317	△ 159,317
当期経常外増減額	△ 20	△ 159,339	159,319
当期一般正味財産増減額	△ 20,895,190	△ 48,904,213	28,009,023
一般正味財産期首残高	601,002,620	649,906,833	△ 48,904,213
一般正味財産期末残高	580,107,430	601,002,620	△ 20,895,190
II 指定正味財産増減の部			
① 受取補助金等	( 0)	( 0)	( 0)
受取政府機関補助金	0	0	0
② 固定資産受贈益	( 0)	( 0)	( 0)
什器備品受贈益	0	0	0
③ 一般正味財産への振替額	( △ 23,775,409)	( △ 14,068,441)	(△9,706,968)
受取政府機関補助金振替額	△ 23,733,389	△ 14,013,389	△ 9,720,000
什器備品受贈益振替額	△ 42,020	△ 55,052	13,032
当期指定正味財産増減額	△ 23,775,409	△ 14,068,441	△ 9,706,968
指定正味財産期首残高	343,351,895	357,420,336	△ 14,068,441
指定正味財産期末残高	319,576,486	343,351,895	△ 23,775,409
III 正味財産期末残高	899,683,916	944,354,515	△ 44,670,599

## 正味財産増減計算書内訳表

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	( 236,567)	( 236,566)	( 473,133)
基本財産受取利息	236,567	236,566	473,133
② 特定資産運用益	( 696,180)	( 29,008)	( 725,188)
特定資産受取利息	696,180	29,008	725,188
③ 事業収益	( 1,213,140,090)	( 50,547,504)	( 1,263,687,594)
研究業務支援事業収益	571,187,641	23,799,485	594,987,126
政府機関受託研究収益	247,070,849	10,294,619	257,365,468
民間企業等受託研究収益	394,881,600	16,453,400	411,335,000
④ 受取補助金等	( 11,621,764)	( 0)	( 11,621,764)
受取政府機関補助金振替額	11,621,764	0	11,621,764
⑤ 受取寄付金	( 42,020)	( 0)	( 42,020)
受取寄付金	0	0	0
固定資産受贈益振替額	42,020	0	42,020
⑥ 雑収益	( 5,437,555)	( 226,565)	( 5,664,120)
受取利息	281,227	11,718	292,945
雑収益	5,156,328	214,847	5,371,175
経常収益計	1,231,174,176	51,039,643	1,282,213,819
(2) 経常費用			
① 事業費	( 1,259,016,828)	( 0)	( 1,259,016,828)
役員報酬	16,272,058	0	16,272,058
給料手当	392,255,218	0	392,255,218
賞与引当金繰入額	18,984,573	0	18,984,573
臨時雇賃金	87,462,642	0	87,462,642
退職給付費用	24,726,640	0	24,726,640
法定福利費	78,202,868	0	78,202,868
福利厚生費	2,941,803	0	2,941,803
人材派遣費	102,263,109	0	102,263,109
会議費	6,712,196	0	6,712,196
旅費交通費	30,757,217	0	30,757,217
通信運搬費	23,805,165	0	23,805,165
減価償却費	69,472,425	0	69,472,425
図書購入費	557,761	0	557,761
消耗品費	6,015,663	0	6,015,663

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
修繕費	1,406,736	0	1,406,736
印刷製本費	1,636,921	0	1,636,921
光熱水料費	6,297,416	0	6,297,416
調査研究費	119,520,858	0	119,520,858
保守点検費	32,189,544	0	32,189,544
データベース諸費	22,193,553	0	22,193,553
賃借料	99,125,016	0	99,125,016
清掃費	2,586,962	0	2,586,962
諸謝金	29,051,826	0	29,051,826
支払助成金	1,020,000	0	1,020,000
情報啓蒙費	5,945,957	0	5,945,957
保険料	1,052,310	0	1,052,310
諸会費	3,269,945	0	3,269,945
租税公課	70,747,381	0	70,747,381
支払利息	1,100,687	0	1,100,687
雑費	1,442,378	0	1,442,378
② 管理費	( 0 )	( 44,092,161 )	( 44,092,161 )
役員報酬	0	7,076,020	7,076,020
給料手当	0	16,892,319	16,892,319
賞与引当金繰入額	0	1,163,534	1,163,534
退職給付費用	0	2,769,260	2,769,260
法定福利費	0	3,568,120	3,568,120
旅費交通費	0	1,060,348	1,060,348
通信運搬費	0	88,529	88,529
減価償却費	0	131,000	131,000
印刷製本費	0	189,035	189,035
光熱水料費	0	177,143	177,143
保守点検費	0	126,280	126,280
賃借料	0	2,729,380	2,729,380
清掃費	0	207,808	207,808
諸謝金	0	4,445,386	4,445,386
保険料	0	151,530	151,530
諸会費	0	103,400	103,400
租税公課	0	3,167,899	3,167,899
支払利息	0	33,180	33,180
雑費	0	11,990	11,990
経常費用計	1,259,016,828	44,092,161	1,303,108,989
当期経常増減額	△ 27,842,652	6,947,482	△ 20,895,170

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 受取補助金等	( 12,111,625)	( 0)	( 12,111,625)
受取政府機関補助金振替額	12,111,625	0	12,111,625
② 受取寄付金	( 0)	( 0)	( 0)
固定資産受贈益振替額	0	0	0
経常外収益計	12,111,625	0	12,111,625
(2) 経常外費用			
① 特定資産除却損	( 12,111,625)	( 0)	( 12,111,625)
建物及び付属設備除却損	2	( 0)	2
構築物除却損	12,107,336	( 0)	12,107,336
什器備品除却損	4,287	0	4,287
② 固定資産除却損	( 20)	( 0)	( 20)
什器備品除却損	20	0	20
経常外費用計	12,111,645	0	12,111,645
当期経常外増減額	△ 20	0	△ 20
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 27,842,672	6,947,482	△ 20,895,190
一般正味財産期首残高			601,002,620
一般正味財産期末残高			580,107,430
II 指定正味財産増減の部			
① 受取補助金等	( 0)	( 0)	( 0)
受取政府機関補助金	0	0	0
② 固定資産受贈益	( 0)	( 0)	( 0)
什器備品受贈益	0	0	0
③ 一般正味財産への振替額	( △ 23,775,409)	( 0)	( △ 23,775,409)
受取政府機関補助金振替額	△ 23,733,389	0	△ 23,733,389
什器備品受贈益振替額	△ 42,020	0	△ 42,020
当期指定正味財産増減額	△ 23,775,409	0	△ 23,775,409
指定正味財産期首残高			343,351,895
指定正味財産期末残高			319,576,486
III 正味財産期末残高			899,683,916

## 財務諸表に対する注記

### 1. 継続組織の前提に関する注記

記載すべき事項はない。

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券は保有していない。

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

個別法による原価法によっている。

#### (3) 固定資産の減価償却の方法

##### ① 自己所有の固定資産

定額法による減価償却を実施している。

##### ② リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

#### (4) 引当金の計上基準

退職給付引当金：職員の退職給付に備えるため、期末要支給額（簡便法）により算定した金額を計上している。

役員退職慰労引当金：役員に対する退職慰労金の支給に備えるため、期末要支給額により算定した金額を計上している。

賞与引当金：職員に対する賞与の支給に備えるため、翌年度の支給見込額のうち、当年度に帰属する額を計上している。

#### (5) リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引でリース料総額が3,000,000円以上のものは通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

上記以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

利息相当額の算定方法は利息法によっている。各期への配分方法についてはリース料総額とリース物件取得価額相当額との差額を利息額としている。

#### (6) 未収収益の計上

期をまたがり当期に完了しない受託契約について年度収益計上の適正化のため、未完了契約に関わる当期の期間経過分を一定の基準で未収金として追加計上している。

#### (7) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本金預金	300,000,000	0	0	300,000,000
小 計	300,000,000	0	0	300,000,000
特定資産				
建物及び附属設備	2	0	2	0
構築物	53,335,469	0	21,348,520	31,986,949
什器備品	2,465,424	0	2,426,887	38,537
退職給付引当資産	287,598,300	27,495,900	25,107,100	289,987,100
小 計	343,399,195	27,495,900	48,882,509	322,012,586
合 計	643,399,195	27,495,900	48,882,509	622,012,586

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
基本金預金	300,000,000	(287,551,000)	(12,449,000)	—
小 計	300,000,000	(287,551,000)	(12,449,000)	—
特定資産				
建物及び附属設備	0	(0)	—	—
構築物	31,986,949	(31,986,949)	—	—
什器備品	38,537	(38,537)	—	—
退職給付引当資産	289,987,100	—	—	(289,987,100)
小 計	322,012,586	(32,025,486)	(0)	(289,987,100)
合 計	622,012,586	(319,576,486)	(12,449,000)	(289,987,100)

5. 担保に供している資産

担保に供している資産はない。

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建物及び附属設備	0	0	0
構築物	82,674,200	50,687,251	31,986,949
什器備品	72,853,630	72,815,093	38,537
小 計	155,527,830	123,502,344	32,025,486
その他固定資産			
建物及び附属設備	44,943,430	34,999,513	9,943,917
構築物	515,287,464	370,582,736	144,704,728
什器備品	152,253,988	139,460,990	12,792,998
リース資産	13,026,200	3,690,757	9,335,443
ソフトウェア	841,500	841,500	0
小 計	726,352,582	549,575,496	176,777,086
合 計	881,880,412	673,077,840	208,802,572

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

貸倒が予見されないため貸倒引当金は計上していない。

8. 保証債務等の偶発債務

保証債務はない。

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的債券は保有していない。

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残 高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	貸借対照表上 の記載区分
深地層の研究施設を使用した 試験研究成果に基づく当該施設 の理解促進事業費補助金	経済 産業省	55,720,356	0	23,733,389	31,986,967	指定正味財産
合計		55,720,356	0	23,733,389	31,986,967	

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額	うち、政府機関補助金の金額
経常収益への振替額		
目的たる支出を行ったことによる振替額	0	0
減価償却費計上による振替額	11,663,784	11,621,764
経常外収益への振替額		
特定資産除却損計上による振替額	12,111,625	12,111,625
合 計	23,775,409	23,733,389

12. 関連当事者との取引の内容

記載すべき事項はない。

13. 重要な後発事象

記載すべき事項はない。

14. その他

(1) 政府機関受託研究収益の内訳

正味財産増減計算書の政府機関受託研究収益に計上の受託調査研究課題等は、次のとおりである。

(単位：円)

委託元	調査研究課題	金額
国立研究開発法人 産業技術総合研究所	「長大な活断層帯で発生する地震の評価手法の高度化に関する調査研究 サブテーマ1-2：歴史文書の収集分析に基づく地震活動の検討」	7,999,887
文部科学省	科学技術基礎調査等委託事業 「地震調査研究推進本部の評価等支援事業」	249,365,581
	合 計	257,365,468

(2) 研究者からの委託を受けて管理を行った科学研究費補助金

研究者からの委託を受け、次のとおり科学研究費補助金(学術研究助成基金助成金を含む。)の管理を行った。

(単位：円)

当期収入	件 数
(300,000) 90,000	2 件

(注1)間接経費を記載し、直接経費については( )内に記載している。

(注2)間接経費については、研究者から譲渡を受け(正味財産増減計算書の「雑収益」に計上。)研究開発環境の改善等に資する経費に使用している。

(3) リース取引関係

所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

その他固定資産

公益目的事業における地震観測装置等である。

(4) 退職給付関係

① 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

② 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

A 退職給付債務	△ 289,987,100
B 会計基準変更時差異の未処理額	0
C 退職給付引当金(A+B)	△ 289,987,100

③ 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

A 勤務費用	27,495,900
B 会計基準変更時差異の費用処理額	0
C 退職給付費用(A+B)	27,495,900

④ 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

(5) 資産除去債務関係

当財団は、事務所等の不動産賃貸借契約に基づき、退去時の原状回復に係る債務等を有しているが、当該債務に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、現時点において将来退去する予定もないことから、資産除去債務を合理的に見積もることができないため計上していない。

## 計算書類の附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金(三菱UFJ銀行 新丸の内支店)	163,000,000	0	0	163,000,000
	定期預金(三井住友銀行 神田支店)	137,000,000	0	0	137,000,000
	基本財産計	300,000,000	0	0	300,000,000
特定資産	建物及び附属設備(東濃地震科学研 究所計測室工事等)	2	0	2	0
	構築物(東濃地震科学研究所地殻観 測井等)	53,335,469	0	21,348,520	31,986,949
	什器備品(東濃地震科学研究所地震 観測装置等)	2,465,424	0	2,426,887	38,537
	退職給付引当資産 定期預金(三井住友銀行 神田支店)	287,598,300	27,495,900	25,107,100	289,987,100
	特定資産計	343,399,195	27,495,900	48,882,509	322,012,586

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	19,690,348	20,148,107	19,690,348	0	20,148,107
退職給付引当金	277,014,300	25,317,900	25,107,100	0	277,225,100
役員退職慰労引当金	10,584,000	2,178,000	0	0	12,762,000

# 財 産 目 録

2026年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
	現金	現金手許有高		0
	預金	<普通預金>	運転資金として	
		三菱UFJ銀行 新丸の内支店	(本部)	1,108,526
		三井住友銀行 神田支店	(本部)	56,345,151
		三井住友銀行 神田支店	(地震調査研究センター)	26,660,588
		三井住友銀行 神田支店	(つくば観測技術センター)	16,132,980
		三井住友銀行 神田支店	(科学研究費補助金)	203,303
		常陽銀行 大穂支店	(つくば観測技術センター)	3,893,025
		<当座預金>	運転資金として	
		三井住友銀行 神田支店	(本部)	1,000
		三井住友銀行 神田支店	(地震調査研究センター)	1,000
			<現金預金計>	104,345,573
	未収金	西日本技術開発株式会社	受託研究収益	132,000,000
		東京電力ホールディングス株式会社	受託研究収益	113,300,000
		国立研究開発法人防災科学技術研究所	受託研究収益	63,677,123
		その他	受託研究収益等	155,785,000
			<未収金計>	464,762,123
	前払金	地震観測装置等の再リース料	地震観測装置等の翌期に係る前払再リース料	16,928,606
		役職員前払通勤交通費	役職員の翌期に係る前払通勤交通費	4,610,160
		土地使用料	地震計設置地点の翌期以降に係る前払土地使用料	5,988,000
		その他	上記以外の前払費用	9,311,099
			<前払金計>	36,837,865
<b>流動資産合計</b>				<b>605,945,561</b>

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(固定資産)				
基本財産	基本金預金	< 定期預金 >		
		三菱UFJ銀行 新丸の内支店	共用財産であり、公益目的保有財産 及び法人活動保有財産	163,000,000
			うち、公益目的保有財産 50%	81,500,000
			うち、法人活動保有財産 50%	81,500,000
		三井住友銀行 神田支店	共用財産であり、公益目的保有財産 及び法人活動保有財産	137,000,000
			うち、公益目的保有財産 50%	68,500,000
			うち、法人活動保有財産 50%	68,500,000
			< 基本財産計 >	300,000,000
特定資産	建物及び附属設備	東濃地震科学研究所計測室 工事等 0件	公益目的保有財産	0
	構築物	東濃地震科学研究所地殻観 測井掘削工事等 11件	公益目的保有財産	31,986,949
	什器備品	東濃地震科学研究所地震観 測装置等 19件	公益目的保有財産	38,537
		< 定期預金 >		
	退職給付引当 資産	三井住友銀行 神田支店	当法人全職員の退職給付引当金及び 全常勤役員の退職慰労引当金見合の 引当資産として管理している。	289,987,100
			< 特定資産合計 >	322,012,586
その他固定資産	建物及び附属 設備	本部研究部サーバ室間仕切 工事等 13件	公益目的保有財産	8,854,581
		本部事務所LAN配線工事等 9件	(共用財産)	1,089,336
			うち、公益目的保有財産 90%	980,404
			うち、法人活動保有財産 10%	108,932
			< (その他固定資産) 建物及び附属設備計 >	9,943,917
	構築物	本部地震観測点設置工事 48件	公益目的保有財産	144,704,728
	什器備品	地震計等 169件	公益目的保有財産	8,570,389
		本部事務所パソコン等 17件	(共用財産)	4,222,609
			うち、公益目的保有財産 90%	3,800,353
			うち、法人活動保有財産 10%	422,256
			< (その他固定資産) 什器備品計 >	12,792,998
	リース資産	Trellix Network Security IPS NS 3600 Appliance	公益目的保有財産	9,335,443

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
ソフトウェア	パソコンソフトWindowsSvrStd等 0件	公益目的保有財産 ＜(その他固定資産)ソフトウェア計＞	0 0
電話加入権	03-3295-1501等 9本 03-3295-1966等 15本	公益目的保有財産 (共用財産) うち、公益目的保有財産 90% うち、法人活動保有財産 10%	674,856 1,132,980 1,019,682 113,298
敷金	千代田ビル8階395㎡ (本部事務所敷金)	(共用財産) うち、公益目的保有財産 90% うち、法人活動保有財産 10%	21,883,240 19,694,916 2,188,324
	千代田ビル8階 253㎡ (地震調査研究センター事務所敷金)	公益目的保有財産	13,297,080
	北信ビル5階 83㎡ (資料倉庫敷金)	公益目的保有財産	1,023,750
	高塚建設工業ビル2階42㎡ (つくば観測技術センター事務所敷金)	公益目的保有財産	300,000
		＜(その他固定資産)敷金計＞	36,504,070
保証金	B・Fビル4階 54㎡ (資料倉庫保証金)	公益目的保有財産	960,000
	高塚建設工業ビル2階42㎡ (つくば観測技術センター事務所保証金)	公益目的保有財産	93,280
		＜(その他固定資産)保証金計＞	1,053,280
		＜その他固定資産計＞	216,142,272
固定資産合計			<b>838,154,858</b>
	＜固定資産内訳＞		
	公益目的保有財産(リース資産を含む)		395,334,948
	負債に対応する引当資産		289,987,100
	法人活動保有財産		152,832,810
資産合計			<b>1,444,100,419</b>

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金	神田税務署	消費税及び地方消費税の未払分	16,417,100
		(株)エヌエフ回路設計ブロック	高感度地震観測施設の観測機器等予備品管理業務	4,180,000
		(株)構造計画研究所	役務(太平洋プレート、スラブ内地震)	2,750,000
		その他		76,658,878
			<未払金計>	100,005,978
	預り金	職員等に対するもの	職員及び委員等に対する源泉所得税、住民税、社会保険料の預り金	4,273,298
		委員等に対するもの	委員等に対する報酬源泉所得税の預り金	280,322
		科学研究費補助金	科学研究費預り金	203,303
			<預り金計>	4,756,923
	短期借入金	三菱UFJ銀行 新丸の内支店	運転資金	60,000,000
		三井住友銀行 神田支店	運転資金	60,000,000
			<短期借入金計>	120,000,000
	短期リース債務	東京センチュリー株式会社	Trellix Network Security IPS NS 3600 Applianceリース料の未払分	2,561,093
			<短期リース債務計>	2,561,093
賞与引当金	職員に対するもの	2025年度上期職員賞与の引当金	20,148,107	
			<賞与引当金計>	20,148,107
流動負債合計				247,472,101
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員の退職給付金の引当金	277,225,100
			<退職給付引当金計>	277,225,100
	役員退職慰労引当金	役員に対するもの	常勤役員の退職慰労金の引当金	12,762,000
			<役員退職慰労引当金計>	12,762,000
長期リース債務	東京センチュリー株式会社	Trellix Network Security IPS NS 3600 Applianceリース料	6,957,302	
		<長期リース債務計>	6,957,302	
固定負債合計				296,944,402
負債合計				544,416,503
正味財産				899,683,916

以上のとおり報告いたします。

2026年5月28日

公益財団法人地震予知総合研究振興会

会 長 金 沢 敏 彦

# 監事監査報告書

公益財団法人 地震予知総合研究振興会

会長 金沢 敏彦 殿

2026年5月28日

公益財団法人 地震予知総合研究振興会

監事 重本 一博



監事 船田 孝司



私たちは、2025年4月1日から2026年3月31日までの2025事業年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

## 1. 監査の方法の概要

(1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録の正確性を検討した。

(2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事からの業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

## 2. 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認める。

以上

## 独立監査人の監査報告書

2026年5月19日

公益財団法人 地震予知総合研究振興会  
会長 金沢 敏彦 殿

出塚清治公認会計士事務所  
東京都千代田区

公認会計士

出塚清治



公認会計士

小林 敬



### <財務諸表等監査>

#### 監査意見

私たちは、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づく監査に準じて、公益財団法人地震予知総合研究振興会の2025年4月1日から2026年3月31日までの2025事業年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドライン第5章第2節第1(2)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私たちは、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私たちの責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私たちは、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書並びに財産目録のうち意見の対象とされていない部分である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私たちの財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私たちはその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における私たちの責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は私が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私たちは、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私たちが報告すべき事項はない。

#### 財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

#### 財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。

- ・財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。

- ・理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。

- ・理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。

- ・財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

<財産目録に対する意見>財産目録に対する監査意見

私たちは、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づく監査に準じて、公益財団法人地震予知総合研究振興会の2026年3月31日現在の2025事業年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

私たちは、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

利害関係

法人と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上